

ふるさと Something NEWS

第31回

コロナウイルス危機への検討

一般社団法人 洗楓座
一般社団法人 e f c o . j p
代表理事 佐藤建吉

▼コロナウイルス・シンドローム

前号に引き続き、コロナウイルス危機について述べたい。コロナウイルスは、世界にまん延して、「ふるさと」をも呑み込んでいく。コロナウイルスの大きさは、50、200ナノ（nm）10億分の1位）であるとい

▼社会制度が変わる

暮らしや仕事も一変し、経済的にも大きな打撃を受けている。コロナウイルスは、①人を選ばない、②姿の見えない敵であり、ゆえに、③対策を翻弄させ、結果として④弱者を直撃、被害を顕在化している。厄介である。

▼危機対策

①は、まさに万人を巻き込み、イギリスではチャールズ皇太子もジョンソン首相も罹患しているように、このウイルスが肺に入ると炎症を起し、発熱し呼吸困難になり、死をもたらす。毒牙である。世界では、200万人の感染者を出し、50万人は回復しているが、12万人以上が死亡している。これらの数値は日々、増えている。

▼危機の表示

コロナ禍でのSDは、危機対策であり、本紙コラムに書いた「セイフ&セキユア（安全安心な心象）」と関係が

▼S-Sモデルの適用

コロナ禍でのSDは、危機対策であり、本紙コラムに書いた「セイフ&セキユア（安全安心な心象）」と関係が

▼評価の例

人物AとBの歩行での左右へ揺れるばらつきには差がある。図2では、人物Aが人物Bと接触する確率を示している。この場合、人物AとBは、ともにじつとして揺れているのではなく、相対的に揺れ動いているのである。図2では平均距離が90センチであり、前後左右に移動しているの

▼まとめ

コロナ禍は、私たちにいろいろなことを教えてくれる。犠牲になったり、治療中の患者やそれ

【註1】

このコラムの緒言、治療中の患者やそれ

【註2】

2018年8月20日発行）

【註3】

第46回『セイフ&セキユア』（安全安心な心象）（第64号10面、2016年11月1日発行）

り、ほかに嗅覚・味覚障害が生じることもあるようだ。重症化すると、肺炎を起し、いわゆる呼吸困難の状態に陥ることがあるという。幸い、近親者で発症した者はいない。

とさえも非難されている。後述するように社会的距離という言葉が認知されるからである。原発の操業も類似である。極論すれば、放射能は線量計で可視化できるが、コロナウイルスは、見えな

SDを表現するの都合がよいものに、「距離カルトグラム」がある。筆者は、「面積カルトグラム」を作図し、過疎と人口集中、再生可能エネルギー利用の都道府県の特徴を表現している

SDを表現するの都合がよいものに、「距離カルトグラム」がある。筆者は、「面積カルトグラム」を作図し、過疎と人口集中、再生可能エネルギー利用の都道府県の特徴を表現している

SDを表現するの都合がよいものに、「距離カルトグラム」がある。筆者は、「面積カルトグラム」を作図し、過疎と人口集中、再生可能エネルギー利用の都道府県の特徴を表現している

SDを表現するの都合がよいものに、「距離カルトグラム」がある。筆者は、「面積カルトグラム」を作図し、過疎と人口集中、再生可能エネルギー利用の都道府県の特徴を表現している

SDを表現するの都合がよいものに、「距離カルトグラム」がある。筆者は、「面積カルトグラム」を作図し、過疎と人口集中、再生可能エネルギー利用の都道府県の特徴を表現している

SDを表現するの都合がよいものに、「距離カルトグラム」がある。筆者は、「面積カルトグラム」を作図し、過疎と人口集中、再生可能エネルギー利用の都道府県の特徴を表現している

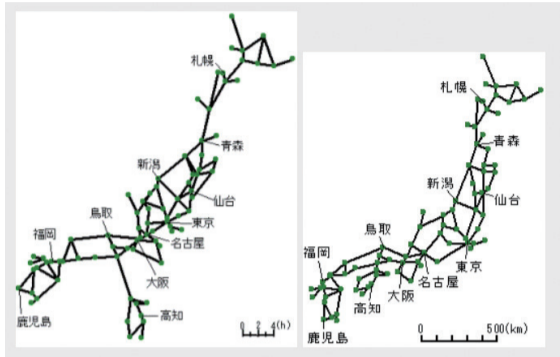
SDを表現するの都合がよいものに、「距離カルトグラム」がある。筆者は、「面積カルトグラム」を作図し、過疎と人口集中、再生可能エネルギー利用の都道府県の特徴を表現している

SDを表現するの都合がよいものに、「距離カルトグラム」がある。筆者は、「面積カルトグラム」を作図し、過疎と人口集中、再生可能エネルギー利用の都道府県の特徴を表現している

連載・エネルギーマネジメント

感染すると2〜14日後に、発熱・咳・呼吸困難が現れるという。初期症状は軽症で発熱や咳など風邪のような症状がある。

図1：距離カルトグラム（時間カルトグラム）



SDを表現するの都合がよいものに、「距離カルトグラム」がある。筆者は、「面積カルトグラム」を作図し、過疎と人口集中、再生可能エネルギー利用の都道府県の特徴を表現している

SDを表現するの都合がよいものに、「距離カルトグラム」がある。筆者は、「面積カルトグラム」を作図し、過疎と人口集中、再生可能エネルギー利用の都道府県の特徴を表現している

図2：S-Sモデルでの接触確率S-Sモデルの表現

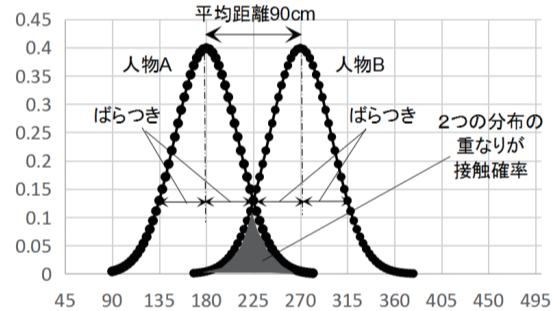
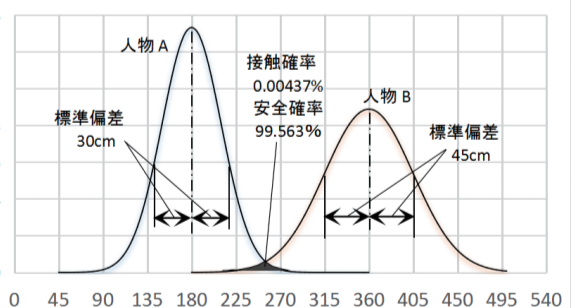


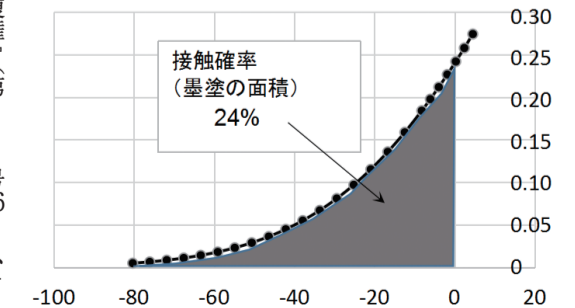
図2では、人物Aが人物Bと接触する確率を示している。この場合、人物AとBは、ともにじつとして揺れているのではなく、相対的に揺れ動いているのである。図2では平均距離が90センチであり、前後左右に移動しているの

図3：並んで歩いた時の接触確率



に格闘している医療施設、さらに政府も戸惑いが隠せない。対策は、全体として、個人個人として、ともに工夫や覚悟で行う必要がある。SDは、社会的な距離ではなく、個人間の処方もある。それは、ICan, YouCan, WeCanの視点でもある

図4：接触確率



【註3】第46回『セイフ&セキユア』（安全安心な心象）（第64号10面、2016年11月1日発行）

http://www.kofuza.jp/images/2019_1_11.pdf

http://www.plan.civil.tohoku.ac.jp/inoue/res